

A+AVD

* 未治療のCD30陽性ホジキンリンパ腫

ブレンツキシマブ ベドチン	1.2mg/kg	点滴静注 (Day1、15)	※Grade2末梢神経障害で0.9mg/kgに減量
ドキシソルビシン	25mg/m ²	点滴静注 (Day1、15)	
ビンブラスチン	6mg/m ²	点滴静注 (Day1、15)	
ダカルバジン	375mg/m ²	点滴静注 (Day1、15)	※投与ルートも遮光

4週間毎 *6コース

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ブレンツキシマブ ベドチン	DIV	1.2mg/kg	↓		↓	
ドキシソルビシン	DIV	25mg/m ²	↓		↓	
ビンブラスチン	DIV	6mg/m ²	↓		↓	
ダカルバジン	DIV	375mg/m ²	↓		↓	

★ブレンツキシマブ ベドチンによる末梢神経障害に注意

★好中球減少が多いので、PEG-G-CSFの投与も考慮

ABVD

(ホジキンリンパ腫)

ドキソルビシン	25mg/m ²	点滴静注 (Day1、15)	
ブレオマイシン	10mg/m ²	点滴静注 (Day1、15)	※MAX15mg
ビンブラスチン	6mg/m ²	点滴静注 (Day1、15)	※MAX 10mg
ダカルバジン	375mg/m ²	点滴静注 (Day1、15)	※投与ルートも遮光
4週間毎	6コース		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ドキソルビシン	DIV	25mg/m ²	↓		↓	
ブレオマイシン	DIV	10mg/m ²	↓		↓	
ビンブラスチン	DIV	6mg/m ²	↓		↓	
ダカルバジン	DIV	375mg/m ²	↓		↓	

- ★ブレオマイシンにて肺障害がでることがあり、肺疾患の既往や喫煙される方に注意必要
- ★ドキソルビシンによる吐き気・心機能障害などに注意。尿が赤くなることがあります。
- ★ビンブラスチンによる脱毛・知覚異常に注意。
- ★ダカルバジンによる血管痛に注意。

CHOP (非ホジキンリンパ腫)

ドキシソルビシン	50mg/m ²	点滴静注 (Day1)
ビンクリスチン	1.4mg/m ²	点滴静注 (Day1)
シクロホスファミド	750mg/m ²	点滴静注 (Day1)
プレドニゾロン	60mg/m ²	点滴静注または経口投与 (Day1~5)
3週間毎	* 6コース	

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~5	Day8	Day15
ドキシソルビシン	DIV	50mg/m ²	↓			
ビンクリスチン	DIV	1.4mg/m ²	↓			
シクロホスファミド	DIV	750mg/m ²	↓			
プレドニゾロン	DIV or PO	60mg/m ²	↓	→		

- ★ドキシソルビシンによる吐き気・心機能障害などに注意。尿が赤くなることがあります。
- ★ビンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。

DA-EPOCH (非ホジキンリンパ腫)

ドキシソルビシン	10mg/m ²	持続静注 (Day1~4 96時間)
ビンクリスチン	0.4mg/m ²	持続静注 (Day1~4 96時間) ※4日間の合計でMAX 2mg
エトポシド	50mg/m ²	持続静注 (Day1~4 96時間)
シクロホスファミド	750mg/m ²	点滴静注 (Day5)
プレドニゾロン	60mg/m ²	点滴静注または経口投与 (Day1~5)
3週間毎 *6~8コース		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~4	Day5	Day8	Day15
ドキシソルビシン	DIV	10mg/m ²	→	→			
ビンクリスチン	DIV	0.4mg/m ²	→	→			
エトポシド	DIV	50mg/m ²	→	→			
シクロホスファミド	DIV	750mg/m ²			↓		
プレドニゾロン	DIV or PO	60mg/m ²	↓	→	↓		

- ★ドキシソルビシンによる吐き気・心機能障害などに注意。尿が赤くなることがあります。
- ★ビンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。
- ★エトポシドによる脱毛・間質性肺炎に注意。

DeVIC

(非ホジキンリンパ腫)

カルボプラチン	300mg/m ²	点滴静注 (Day1)
エトポシド	100mg/m ²	点滴静注 (Day1、2、3)
イホスファミド	1500mg/m ²	点滴静注 (Day1、2、3)
デキサメタゾン	40mg/body	点滴静注 (Day1、2、3)

* IFMの副作用予防目的にて、ウロミテキサンの投与を実施する

3週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2	Day3	Day8	Day15
カルボプラチン	DIV	300mg/m ²	↓				
エトポシド	DIV	100mg/m ²	↓	↓	↓		
イホスファミド	DIV	1500mg/m ²	↓	↓	↓		
デキサメタゾン	DIV	40mg/body	↓	↓	↓		

★イホスファミドによる出血性膀胱炎予防のためウロミテキサンをイホスファミド投与時・4時間後・

8時間後に投与する

★カルボプラチンによる腎障害・難聴・血小板減少に注意。

★エトポシドによる脱毛・間質性肺炎に注意。

DRC

(原発性マクログロブリン血症)

リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注 (Day1)
デキサメタゾン	20mg/body	点滴静注 (Day1)
シクロホスファミド	200mg/m ² /日	経口投与 (Day1~5)
3週間毎 *6コースまで		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~5	Day8	Day15
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓			
デキサメタゾン	DIV	20mg/body	↓			
シクロホスファミド	PO	200mg/m ² /日	→	→		

★リツキシマブによるインフュージョンリアクションに注意

★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。

G-B

(濾胞性リンパ腫)

オビヌツズマブ	1000mg/body	点滴静注	【1サイクル目】	Day1、8、15
			【2サイクル目以降】	Day1
ベンダムスチン	90mg/m ²	点滴静注	(Day1、2)	
4週間毎				

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2	Day8	Day15	Day22
オビヌツズマブ	DIV	1000mg/body	↓		(↓) *1	(↓) *1	
ベンダムスチン	DIV	90mg/m ²	↓	↓			

*1：1サイクル目のみ

★オビヌツズマブによるインフュージョンリアクションに注意。

★ベンダムスチンによるリンパ球減少のためS T合剤・アシクロビルなどの予防投与推奨

G-CHOP

(濾胞性リンパ腫)

オビヌツズマブ	1000mg/body	点滴静注	【1サイクル目】 Day1、8、15 【2サイクル目以降】 Day1
ドキシソルビシン	50mg/m ²	点滴静注	(Day1)
ビンクリスチン	1.4mg/m ²	点滴静注	(Day1)
シクロホスファミド	750mg/m ²	点滴静注	(Day1)
プレドニゾロン	60mg/m ²	点滴静注または経口投与	(Day1~5)
3週間毎	* 6コース		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~5	Day8	Day15
オビヌツズマブ	DIV	1000mg/body	↓		(↓) *1	(↓) *1
ドキシソルビシン	DIV	50mg/m ²	↓			
ビンクリスチン	DIV	1.4mg/m ²	↓			
シクロホスファミド	DIV	750mg/m ²	↓			
プレドニゾロン	DIV or PO	60mg/m ²	↓	→		

*1: 1サイクル目のみ

- ★オビヌツズマブによるインフュージョンリアクションに注意。
- ★ドキシソルビシンによる吐き気・心機能障害などに注意。尿が赤くなることがあります。
- ★ビンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。

GDP

(非ホジキンリンパ腫)

ゲムシタビン	1000mg/m ²	点滴静注 (Day1、8)
シスプラチン	75mg/m ²	点滴静注 (Day1) ※場合によってカルボプラチン (AUC=5)に変更もあり
デキサメタゾン	40mg/body	点滴静注または経口投与 (Day1~4)

3週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~4	Day8	Day15
ゲムシタビン	DIV	1000mg/m ²	↓		↓	
シスプラチン	DIV	75mg/m ²	↓			
デキサメタゾン	DIV or PO	40mg/body	↓	→		

★シスプラチン投与のため、水分負荷・Mg製剤投与など必要

★胸部への放射線療法・間質性肺炎・肺線維症がある患者には禁忌。

GEM (非ホジキンリンパ腫)

ゲムシタビン 1000mg/m² 点滴静注 (Day1、8、15)
4週間毎 *3~6コース

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ゲムシタビン	DIV	1000mg/m ²	↓	↓	↓	

★胸部への放射線療法・間質性肺炎・肺線維症がある患者には禁忌。

HD-MTX (中枢神経系原発悪性リンパ腫：PCNSL)

メトトレキサート 3.5g/m² 点滴静注 (Day1)

* MTXの副作用予防目的にて電解質輸液、利尿剤 (アセタゾラミド)、LVの投与を実施する

* ST合剤服用している場合は、原則72時間以上前より休薬することが推奨される

3週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
メトトレキサート	DIV	3.5g/m ²	↓		

★併用注意の薬剤 (ST合剤・非ステロイド性抗炎症薬・PPI・ループ利尿剤など) が多いので注意。

mGDP(GCD) (非ホジキンリンパ腫)

ゲムシタビン	1000mg/m ²	点滴静注 (Day1、8)
カルボプラチン	AUC=5	点滴静注 (Day1)
デキサメタゾン	40mg/body	点滴静注または経口投与 (Day1~4)
3週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~4	Day8	Day15
ゲムシタビン	DIV	1000mg/m ²	↓		↓	
カルボプラチン	DIV	AUC=5	↓			
デキサメタゾン	DIV or PO	40mg/body	↓	→		

★胸部への放射線療法・間質性肺炎・肺線維症がある患者には禁忌。

★カルボプラチンによる腎障害・難聴・血小板減少に注意。

modified ESHAP（非ホジキンリンパ腫）

カルボプラチン	AUC=5	持続静注（Day1、2、3、4）	※4日間の合計でAUC=5
エトポシド	60mg/m ²	点滴静注（Day1、2、3、4）	
シタラビン	2000mg/m ²	点滴静注（Day5）	
メチルプレドニゾロン	500mg/body	点滴静注（Day1、2、3、4、5）	
3～4週間毎			

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2	Day3	Day4	Day5
カルボプラチン	DIV	AUC=5	→	→	→	→	
エトポシド	DIV	60mg/m ²	↓	↓	↓	↓	
シタラビン	DIV	2000mg/m ²					↓
メチルプレドニゾロン	DIV	500mg/body	↓	↓	↓	↓	↓

★シタラビン大量療法のため、結膜炎予防の目薬（ステロイド+ヒアルロン酸）が必要

※シタラビン症候群にも注意。

★エトポシドによる脱毛・間質性肺炎に注意。

★カルボプラチンによる腎障害・難聴・血小板減少に注意。

Pola+BR（びまん性大細胞型B細胞リンパ腫）

ポラツズマブ ベドチン	1.8mg/kg	点滴静注（Day1）
ベンダムスチン	90mg/m ²	点滴静注（Day1、2）
リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注（Day1）
3週間毎 *6コース（1コース目はDay1にR、Day2にPola+B、Day3にBを実施）		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2	Day8	Day15
ポラツズマブ ベドチン	DIV	1.8mg/kg	↓			
ベンダムスチン	DIV	90mg/m ²	↓	↓		
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓			

- ★ベンダムスチンによるリンパ球減少のためST合剤・アシクロビルなどの予防投与推奨
- ★リツキシマブによるインフルエンザ感染に注意
- ★ポラツズマブベドチンによるインフルエンザ感染・骨髄抑制・末梢性ニューロパチーに注意。

Pola-R-CHP

(非ホジキンリンパ腫)

リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注 (Day1)
ドキシソルビシン	50mg/m ²	点滴静注 (Day1)
ポラツズマブベドチン	1.8mg/kg	点滴静注 (Day1)
シクロホスファミド	750mg/m ²	点滴静注 (Day1)
プレドニゾロン	100mg/body	点滴静注または経口投与 (Day1~5)
3週間毎 *6コース		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~5	Day8	Day15
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓			
ドキシソルビシン	DIV	50mg/m ²	↓			
ポラツズマブベドチン	DIV	1.8mg/kg	↓			
シクロホスファミド	DIV	750mg/m ²	↓			
プレドニゾロン	DIV or PO	100mg/body	↓	→		

- ★リツキシマブ・ポラツズマブベドチンによるインフュージョンリアクションに注意。
- ★ドキシソルビシンによる吐き気・心機能障害などに注意。尿が赤くなることがあります。
- ★ポラツズマブベドチンによる末梢神経障害に注意。
- ★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。

R (CD20陽性悪性リンパ腫)

リツキシマブ 375mg/m² 点滴静注 (Day1)
1週間毎 *8コース

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓	↓	↓	↓

★リツキシマブによるインフュージョンリアクションに注意。

R² (濾胞性リンパ腫 及び 辺縁帯リンパ腫)

リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注	【1サイクル目】 Day1、8、15、22
			【2～5サイクル目】 Day1
レナリドミド	20mg/day/body	経口投与	(Day1～21)
4週間毎			

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓*2	(↓)*1	(↓)*1	(↓)*1
レナリドミド	PO	20mg/day/body	→	→	→	

*1：1サイクル目のみ

*2：6サイクル目以降なし

★リツキシマブによるインフュージョンリアクションに注意

★レナリドミドは妊娠回避のため専用の手順を踏み院内にて処方。

※静脈血栓のリスクに応じて抗血栓薬の投与が推奨。

R-B

(濾胞性リンパ腫)

リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注 (Day1)
ベンダムスチン	90mg/m ²	点滴静注 (Day1、2)
3~4週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2	Day8	Day15	Day22
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓				
ベンダムスチン	DIV	90mg/m ²	↓	↓			

★ベンダムスチンによるリンパ球減少のためS T合剤・アシクロビルなどの予防投与推奨

★リツキシマブによるインフェージョンリアクションに注意

R-CHOP

(非ホジキンリンパ腫)

リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注 (Day1)
ドキシソルビシン	50mg/m ²	点滴静注 (Day1)
ビンクリスチン	1.4mg/m ²	点滴静注 (Day1) ※ MAX2mg
シクロホスファミド	750mg/m ²	点滴静注 (Day1)
プレドニゾロン	60mg/m ²	点滴静注または経口投与 (Day1~5)
3週間毎 *6コース		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~5	Day8	Day15
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓			
ドキシソルビシン	DIV	50mg/m ²	↓			
ビンクリスチン	DIV	1.4mg/m ²	↓			
シクロホスファミド	DIV	750mg/m ²	↓			
プレドニゾロン	DIV or PO	60mg/m ²	↓	→		

- ★リツキシマブによるインフルエンザ感染に注意。
- ★ドキシソルビシンによる吐き気・心機能障害などに注意。尿が赤くなることがあります。
- ★ビンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。

R-COP (非ホジキンリンパ腫)

リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注 (Day1)
ビンクリスチン	1.4mg/m ²	点滴静注 (Day1) ※MAX2m g
シクロホスファミド	750mg/m ²	点滴静注 (Day1)
プレドニゾロン	60mg/m ²	点滴静注または経口投与 (Day1~5)
3週間毎	*6コース	

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~5	Day8	Day15
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓			
ビンクリスチン	DIV	1.4mg/m ²	↓			
シクロホスファミド	DIV	750mg/m ²	↓			
プレドニゾロン	DIV or PO	60mg/m ²	↓	→		

- ★リツキシマブによるインフュージョンリアクションに注意。
- ★ビンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。

R-GCVP (非ホジキンリンパ腫)

リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注 (Day1)
ゲムシタビン	750mg/m ²	点滴静注 (Day1・8) ※1コース目
	875mg/m ²	点滴静注 (Day1・8) ※2コース目
	1000mg/m ²	点滴静注 (Day1・8) ※3コース目以降
ビンクリスチン	1.4mg/m ²	点滴静注 (Day1) ※ MAX2mg
シクロホスファミド	750mg/m ²	点滴静注 (Day1)
プレドニゾロン	60mg/m ²	点滴静注または経口投与 (Day1~5)
3週間毎 *6コース		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~5	Day8	Day15
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓			
ゲムシタビン	DIV	750~1000mg/m ²	↓		↓	
ビンクリスチン	DIV	1.4mg/m ²	↓			
シクロホスファミド	DIV	750mg/m ²	↓			
プレドニゾロン	DIV or PO	60mg/m ²	↓	→		

- ★リツキシマブによるインフュージョンリアクションに注意。
- ★胸部への放射線療法・間質性肺炎・肺線維症がある患者には禁忌。☒
- ★ビンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。

R-MPV (中枢神経系原発悪性リンパ腫：PCNSL)

リツキシマブ 375mg/m² 点滴静注 (Day1)
 ピンクリスチン 1.4mg/m² 点滴静注 (Day1) ※MAX2mg
 プロカルバジン 100mg/m² 経口投与 (Day1~7) * 奇数クールのみ
 メトトレキサート 3.5g/m² 点滴静注 (Day1)

- * MTXの副作用予防目的にて電解質輸液、利尿剤 (アセタゾラミド)、LVの投与を実施する
 - * R-MPV施行中はST合剤を休薬し、MTXの血中濃度が0.1μM未満まで下がった後内服を再開する
 - * 細胞診陽性の際は、MTX：15mg PSL：20mgの髄腔内注射をDay5~12の間に1回実施する
- 2週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~7	Day8
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓		
ピンクリスチン	DIV	1.4mg/m ²	↓		
プロカルバジン	PO	100mg/m ²	↓	→	
メトトレキサート	DIV	3.5g/m ²	↓		

- ★リツキシマブによるインフュージョンリアクションに注意。
- ★ピンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★プロカルバジン服用中はアルコール (飲酒) は禁止。
- ★MTXは併用注意の薬剤 (ST合剤・非ステロイド性抗炎症薬・PPI・ループ利尿剤など) が多いので注意。

Romidepsin (末梢性T細胞リンパ腫)

ロミデプシン 14mg/m² 点滴静注 (Day1、8、15)
4週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ロミデプシン	DIV	14mg/m ²	↓	↓	↓	

★ロミデプシンによるQT延長・骨髄抑制等に注意。

R-THP-COP (非ホジキンリンパ腫)

リツキシマブ	375mg/m ²	点滴静注 (Day1)	
ピラルビシン	50mg/m ²	点滴静注 (Day1)	
ビンクリスチン	1.4mg/m ²	点滴静注 (Day1)	※MAX2m g
シクロホスファミド	750mg/m ²	点滴静注 (Day1)	
プレドニゾロン	100mg/body	点滴静注または経口投与 (Day1~5)	
3週間毎 *6コース			

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2~5	Day8	Day15
リツキシマブ	DIV	375mg/m ²	↓			
ピラルビシン	DIV	50mg/m ²	↓			
ビンクリスチン	DIV	1.4mg/m ²	↓			
シクロホスファミド	DIV	750mg/m ²	↓			
プレドニゾロン	DIV or PO	100mg/body	↓	→		

- ★リツキシマブによるインフルエンザ感染に注意。
- ★ピラルビシンによる吐き気・心機能障害などに注意。
- ★ビンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★シクロホスファミドによる出血性膀胱炎に注意。